こんにちは、
日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会☎ 353-6311 自宅☎（F 兼）691-3323 （携帯） 090-7880-9442
日本共産党京都市会議員団 ☎２２２－３７２８ FAX ２１１－２１３０
市会議員団ホームページ http://cpgkyoto.jp/ E-mail info@cpgkyoto.jp ２０２２年３月２７日

# 市長「ヘルスピアは来年３月で廃止」!?

## その理由「利用しない市民の税金も投入」!?

### 高速道路には利用しない市民の税金含め600億円投入なのに??

「近隣住民は安価で利用可能だが、利用者負担額と全体の運営経費との差は他の市民の税金で負担しているだけである」。こんな理由で、区役所東側の市健康増進センター「ヘルスピア」を、来年３月で廃止すると、市長が発表しました。18日の市議会の井上議員の質問要旨を紹介します。

※ ※

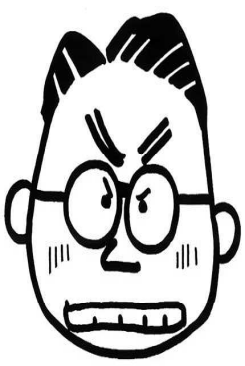
●井上議員）健康増進の場。行きなれた親しみやすい場所を奪うな。〇答弁）同種の施設が、他にもたくさんある。

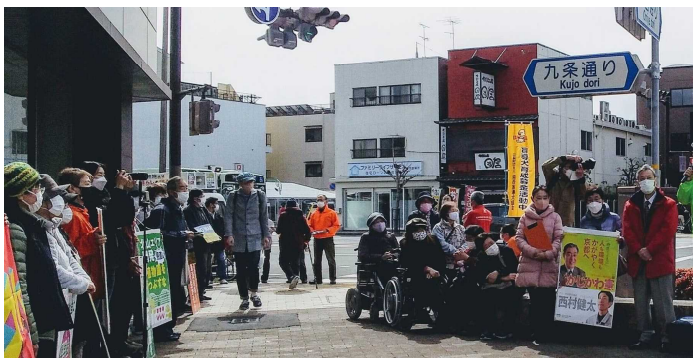
●医者が週３日配置され健康管理の実施など、スポーツジム等とは性格が違う。営業ではなく、市民の健康増進との公的な役割を持った施設。東寺の五重塔は昔から健在なのに僅か30年で老朽化とは？。〇プールがあり水の影響がある。

●「他の市民の税金で～」等と言い出したら施設運営は成り立たない。図書館は利用する市民もしない市民もおられる。芸大の運営は授業料だけで賄っているわけではないが誰も文句は言わない。文化の向上に貢献しているからだ。夫々の施設には夫々の目的や役割があるから税金を使っている。一方、市内高速道路には、車に乗らない市民の税金も含め６百億円以上も投入。市役所と御池地下街を結ぶ13億円の地下通路は市民全員が通るわけではないが、市は特に問題にはしない。恣意的に使い分けてはいけない。近隣住民と言うならコンサートホールでも動物園でも京都会館でも偏在。市に一ヵ所しかなければ、これはある意味当たり前だ。

※ ※

市は「手数料は、かかる経費の全額を市民の負担で」などと言っており、既に放置自転車撤去の引取り費用は、昨秋からそうなっています。大幅値上げです。これは税金の二重取りです。市民を分断し、税金投入ゼロなら、お金で「買う行政、買う福祉」になってしまいます。






## 働く人の代表、弘法さんで訴え

２１日、参拝客らで賑わう「弘法さん」で、「働く人の代表」が訴え。コロナ対策や地域経済底上げ、格差縮小めざす府政を、北陸新幹線はストップ、等々と呼びかけられました。

## 文化・教育的等の観点無し、お金がすべて

また井上議員は、ひとまち交流館（写真左）など市の施設利用の有料化や値上げ方針についても質問しました。反対の請願書と多くの要望が出されています。

市長は、手数料や施設の使用料、各施策の利用料や負担金等々、かかる経費の何％を市民負担で、手数料は百％等と強調しています。その批判に加え、次のように追及しました。

●何％の根拠はなく恣意的。財政の観点からだけでなくその施設の市民的文化的意義から議論すべき。交流館の各会議室は私的な利用ではなく、公的・社会教育的な活動の為の利用。むしろ市は奨励・激励すべき類の活動だ。各地域に公民館が無いのも市政の大問題。社会教育は、奨励・推進されるべきものだ。

## ロシアの軍事侵攻に抗議

３月１日、市議会本会議で、「姉妹都市キエフをはじめとする各都市へのロシアによる軍事侵攻に抗議する決議」を議員全員で採択しました。